



志紀おおぞらこども園 第21号

発行者：岡内郷子 2025、2、25

みんなで“ひよこのきょうだい”みたいで、かわいかったです！（0歳）

うちの子は緊張してずっと泣いていましたが、先生方と園児たちが楽しそうにふれあっている姿がほほえましく普段こういう風に子どもたちとかかわってくださっているのが分かりとても良い会でした。（1歳）

今まで参観や運動会では泣いていた娘が発表会は一度も泣かずに参加していてこの一年での成長をみることができました。ここ最近、家でもかくれんぼやお医者さんごっこをよくしていて大好きな遊びがいっぱい詰まった発表会でみんなかわいかったです。パパやママのところに近づいてくるものの遊びが始まるとみんなの方へ行く娘の姿を見ると改めて先生や友だち、園生活が大好きなんだなあと感じる事ができました。（1歳）

みんなが生き生きしている生活発表会。「ないしょでんしゃ」見ていてとっても楽しかったです。普段から一人ひとりの好きを大切にしてくださっているクラスでのみんなの大好きが詰まっていましたね。毎日帰ってくるたびに好きな歌が増えていて「これは〇〇ちゃんのスキな歌」とたくさん教えてくれました。「自分が好きだと思えることを言える」「誰かのスキを認め合う」ととても大切なことを日々の中で教えてもらっていると感じていました。行事のための練習ではなく毎日の先にある生活発表会で本当にゼロから考えてくださる先生方は大変だろうと思っていましたが温かく日々子どもたちを見守ってくださってありがとうございました。（3歳）

お話の中に個々の「得意」「好き」を披露する場面を上手に取り入れていて皆が主役になれる素敵な時間でした。先日の参観では、親が手伝っていたコマも少し見ない間に下敷きの上で転がすまでに腕を上げて驚きました。皆の前で成功した時の得意げな顔がとてもほほえましかったです。（笑）先生方のお力添えがあったからこそその心温まる時間でした。（3歳）

何をするかマル秘だったようで、楽しみにしていたら、予想以上のできに本当に楽しむことができました。友だちとの一緒に大きな声を合わせてハプニングも楽しみ、全員が笑顔でとてもいい発表会でした。ありがとうございました。（4歳）

とてもユニークなニュースでいっぱい笑わせていただきました。4歳とは思えないほどの発想力で次は何が始まるんだろうとわくわくドキドキさせられました。まさか、ニュースの後に一旦CMにいったことにもびっくりでした。アナと雪の女王も楽しみにしています。家でどういったことをするの？と聞くと「ニュース」「チャンブラホイ」と何回聞いても「チャンブラホイ」と言っていてこちらが、復唱しても「ちがう、チャンブラホイ」と…。本番みてやっと「キャンプダホイ」だということが分かりすっきりしました。（笑）（4歳）

超大作のにじ組ドラマ、とってもすばらしかったです。日常に遊んでいる様子がたくさん登場しクラスみんなで作り上げているあたたかい雰囲気伝わってきました。我が子を含め、友だちみんなの成長をとっても感じました。6年間のかけがえない時間を感じました。先生方ありがとうございます。子どもたちおつかれさま。ありがとう～。元気をもらいました。（5歳）

こども園最後の発表会！小道具の出し入れや友だちが忘れていたら声をかけたり、自分たちで進めていさすが年長さんだなと思いました。また、パフォーマンズでは、友だちと楽しそうに取り組む姿に仲の良いクラスだなあと感じました。最後の「ありがとうの花」は上手に手話もしていて大きくなったなあと思いが込み上げて涙がウルッとしました。ありがとうございました。（5歳）

運営面でも、ご協力いただきありがとうございました。みなさんマナーよく観覧いただいたり、駐輪場や駐車場内でもマナーを守っていただきました。ありがとうございました。この他にも、いただいたご意見もありますので、今後に生かしていきたいと思っています

1年間の子どもたちの成長って本当にすごいですね～。

4月、なかなかクラスに馴染めなくて泣いていた子どもたちも、今ではクラスの先生や友だちと一緒に笑い合う姿があり、見ていてほのぼのしています！！

体も大きくなり保育室が狭く感じる場面もしばしば…。嬉しさと同時にもうすぐ卒園する5歳さんとのお別れに淋しさを感じることもあります。残り少ない日々ですが、大好きな子どもたちと一緒に、思いっきり楽しみたいと思っています。保護者の皆様も最後までよろしくお願いします。

生活発表会、たくさんの方に来ていただきありがとうございました。

生活発表会へのアンケート、ありがとうございました。ここにほんの一部ですが、紹介させていただきます。

子どもたちの大好きなものを詰め込みました！！と先生がおっしゃったのでどんなことをするのか？と楽しみにしていました。自分でお返しを何にするのかを考えて、それを自分でもっていく！！娘は大きなテーブルを選びテーブルをもっていくことに…さすがに大きなテーブルは一人で持てない…。そのことに気づいた友だちがさっとテーブルと一緒に持ってくれました。その行動に感動しました。そして、子どもたちの思いに寄り添う先生。子どもたちの発信する動きや言葉を叶えてあげようとする姿は勉強になりました。後略（2歳）